



二輪車安全 普及協 ニュース

No. 106

平成23年7月31日号

発行所

(社)全国二輪車安全普及協会

編集・発行人 鯉淵 三夫

〒164-0012

東京都中野区本町 2-28-11

TEL 03-3372-5156

ホームページ

<http://www.nifukyo.or.jp>

Japan Motorcycle Safety Association News



平成23年度通常総会を開催

平成23年度
全国二輪車安全普及協会 通常総会

全国二輪車安全普及協会（全国二普協）は5月18日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で平成23年度通常総会を開催した。平成22年度の事業報告及び収支決算、23年度の事業計画及び収支予算を審議・承認した。また、公益法人制度改革に伴い一般社団法人へ移行することとし、これに関する定款、内部規定等も審議・承認した。

平成23年度の事業計画では、①二輪車安全運転普及活動、②二輪車防犯活動 の2点を基本事業

と定め、各種施策を展開していくこととした。二輪車安全運転普及活動では特に、グッドライダーミーティング（以下「Gミーティング」という。）について、全都道府県での開催を目指して支援策を展開する。

また、二輪車防犯活動では、「グッドライダー防犯登録制度」（以下「G防犯登録制度」という。）のより一層の普及促進を図るとともに、各県の入力システムの改善を行うこととした。

◆目次◆

■平成23年度通常総会を開催

福井会長あいさつ……………2

石井隆之警察庁交通局長祝辞……………2

平成22年度事業報告／平成23年度事業計画……………3

意見交換会あいさつ……………5

■広島県・香川県に警察庁・全国二普協連名表彰……………6

岐阜県・岡山県・愛媛県・沖縄県に会長表彰……………6

■Gミーティング紹介……………7

岩手県・宮城県・秋田県・奈良県・福井県・熊本県

■地区二普協活動紹介……………11

横須賀二輪車安全普及協会……………11

■「救援バイクV・Sやまなし」の被災地ボランティア活動……………12

■DATA：交通事故／G防犯登録／盗難認知・被害回復……………13

■退任5都県役員に感謝状……………16

平成23年度通常総会あいさつ



全国二普協発足40周年、一般社団法人へ移行予定 節目の年、活動内容の充実と効率的な推進を図る

全国二普協会長 福井 威夫

平成23年度通常総会を開催するにあたり、役員、会員各位にはご多忙中にもかかわらずご出席をいただきありがとうございます。

また、平素から二普協事業の運営に格別のご指導、ご支援を賜りこの席をお借りし厚くお礼を申し上げます。

さて、東日本大震災では、多数の犠牲者や行方不明者そして未だ困難な避難生活を続けられている数多くの皆様がいらっしゃいます。心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。宮城県二普協につきましては、関係者の皆様のご尽力、ご協力によりいち早く復旧し、通常業務に戻ることができたと伺っており安心しているところでございます。

議事に先立ちまして一言ご挨拶を申し述べたいと思います。

先ず、二普協事業活動の大きな柱である安全運転普及活動についてですが、昨年はGミーティングの拡大開催や未実施県の減少などを実現することができました。しかしながら、二輪車事故死者数は871人で、前年比15人の減少となりましたが、内訳をみますと自動二輪では減少したものの、原付の死者数は昨年と同数でありました。

この3月に政府の中央交通安全対策会議の第9次交通安全基本計画が作成され、平成27年までに24時間間交通事故死者を3,000人以下とし世界一安全な道路交通を実現するという政府目標が示され、二輪車関連対策として、免許取得時講習のほか、二輪車安全運転講習

等二輪車安全運転対策の推進、高校生に対する二輪車運転者としての交通安全教育の推進等があげられております。二普協としましては、これら施策の積極的な推進及び協力により目標達成に寄与していく必要があります。特にGミーティングについては、県内における二輪車事故の多い年齢層の参加促進を図るなど、事故実態に即した安全運転講習の開催を、関係機関、団体との緊密な連携、協力の下に着実に実施してまいりたいと思っております。

次にもうひとつの大きな柱である防犯活動につきましては、平成22年は新車出荷台数に対するG防犯登録率が47.8%と前年より微減し、目標とした55%には及びませんでした。二普協としましては、昨年に引き続き銘柄別、都道府県別の登録目標を設定し、改めて目標達成に向け、警察やメーカー、販社のご協力をいただきながら事業の推進を図ってまいります。

公益法人制度改革に伴う新法人移行につきましては、本協会では、一般社団法人へ移行することとし、本日の会議ではそのための定款(案)や内部規定(案)等のご審議をお願いすることとしております。

本年は任意団体としての全国二普協発足40周年という記念すべき年であり、また、一般社団法人へ移行予定という重要な節目の年となります。私どもとしては、二普協の活動の内容の充実と効率的な推進を図り、各方面からの高い評価を得るべく一層努めてまいりたいことを申し添え、私の挨拶とさせていただきます。

平成23年度通常総会あいさつ



第9次交通安全基本計画の達成に協力を

警察庁交通局長 石井 隆之

ご紹介を賜りました、警察庁の交通局長をいたしております石井でございます。

ただいま、二輪車の交通安全とグッドライダー防犯登録制度の普及促進による盗難防止に多大の貢献をさ

れたご功績により、栄えある表彰を受けられました広島県、香川県をはじめ、各県二輪車安全普及協会の皆様には、心からお祝いを申し上げます。

皆様ご承知のとおり、先般、東日本大震災が起り

まして、大変多くの方々が被害に遭われております。被害に遭われた皆様に対しまして心からお見舞を申し上げます。

ご列席の皆様には、震災に伴う警察活動のほか、あらゆる面から震災への復興支援にご協力を賜っていることに対しまして、心から感謝を申し上げます。

この未曾有の危機を乗り越えるため、国民一人一人が力を合わせて突き進んでいるところでありますが、皆様には、更なる復興への支援と、節電対策へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

警察も被災されました3県に交通整理のため1日500人近く交通警察官を応援派遣をしております。大変大きな被害を受けて、瓦礫が散乱するような場におきましては、当初、なかなか四輪が走ることができませんで、オフロードバイクなど二輪車を持って行って情報収集などをいたしました。このような状況での二輪車の有用性を改めて認識をしたところでございます。

また、皆様にもこうした二輪車の有用性を生かした活動を行っていただいております、改めてお礼を申し上げます。

さて、今年は、第9次交通安全基本計画の初年度となっております。第9次交通安全基本計画では5年後

の平成27年までに、交通事故死者を3,000人以下にするという目標が示されております。大変厳しい目標でございますが、何とか達成したいと思ひ様々な取組みを進めているところでございます。

その中で、自動二輪車に乗っている方の交通事故死者数の推移を経年で見てまいりますと、減っていることは減っておりますが、四輪車に比べてその減り方がやや少のうございます。我々といたしましては、自動二輪車に乗っている方の安全対策を、皆様方と連携を図りまして、より一層推進してまいりたいと思っております。

また、自動二輪車の盗難も相当数ございます。これを何とか減らしてまいりたいと思っておりますが、そのためにはやはり、グッドライダー防犯登録をしていただいて、警察が盗難車の発見をしやすい環境を作っていただくのがありがたいところでございます。皆様方には引き続き、グッドライダー防犯登録の推進についてご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、この度の震災で被災された方々の一日も早い復興と、平穏な生活を心からお祈り申し上げますとともに、二輪車安全普及協会の益々のご発展と、ご参会の皆様方のご健勝を祈念申し上げます、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

平成22年度事業報告（要旨）

1 二輪車安全運転普及活動

(1) 安全運転講習会の開催

○グッドライダーミーティング

- ・39都道府県で96回開催。受講者数3,959人。回数・受講者数とも前年を上回る。未実施県は8県
- ・女性、介護士のみを対象とした講習を行うなどの工夫がみられた
- ・指導内容、運営方法統一のため、指導員マニュアルを作成し、研修を実施した

○高校生に対する安全運転講習

- ・他団体との共催、講話等を含め、24県で205回開催。受講者数は16,817人

○高齢者に対する安全運転講習

- ・他団体との共催、講話等を含め、9県で14回開催。受講者数は252人。うち高齢者のみを対象としたものが12回

○その他の安全運転講習等への参加、協力

- ・県二推や県警等の主催の各種安全運転講習に共催。その他で参加・協力。32都道府県で1,233回開催。受講者数は17,277人。また、原付講習（法定）に協力した

(2) 地域二普協の安全運転講習

- ・警察署単位の安全運転講習に参加、協力した

(3) 原付免許取得協力活動

- ・原付免許を取得しようとする者に対し、全国二普協 HP による広報や各種教材の紹介及び販売店の店頭指導等により情報の提供に努めた。受験者数は326,053人、合格者数190,538人

(4) 二輪車安全運転推進運動

- ・9月11日から30日までの20日間、秋の全国交通安全運動の時期にあわせ関係省庁の後援と関係団体の協力、協賛を得て、街頭点検指導をはじめ安全運転講習会、運転マナーの啓発等各種安全運転普及活動を展開した
- ・街頭点検指導の実施回数は438回、指導にあたった者1,883人、点検車両台数13,049台
- ・期間中、ヘルメットの正しい着用を促すためのポスター11,700枚、バイクの安全な乗り方30,000部、安全防犯チラシ25万枚を配布した

(5) 二輪車安全運転大会

- ・46都道府県で県予選大会開催。参加人数は2,083人。県二普協が共催団体として運営に参加、協力した
- ・全国大会は全国二普協が後援団体として運営に参画する

とともに、全国二普協会会長賞として各クラス優勝選手4人にボディプロテクター付きジャケットを贈呈した

(6) 二輪車安全運転指導員の養成及び認定

- ・特別指導員58人、指導員193人の合計251人に資格認定
- ・平成22年12月末の総数は特別指導員2,346人、指導員7,880人の合計10,226人
- ・全国二普協は特別指導員養成講習及び審査に講師を派遣、県二普協は指導員審査に協力

2 二輪車防犯活動

(1) G 防犯登録の普及推進

○登録状況

- ・登録件数は新車、中古車あわせ297,751件。前年比1,941件、0.7%増
- ・新車登録件数（国内4銘柄）は181,796台で出荷台数比47.8%。目標の55%に及ばず
- ・登録総件数は2,751,256件で保有台数比23.0%

○普及促進のために実施した活動

- ・銘柄別・都道府県別の計画、外車新車プラス中古車の計画を策定し、達成に向け積極的に取り組んだ
- ・安全運転普及活動と連携したチラシを作成して配布するとともにHPを活用した広報を実施した
- ・国内4メーカーの販社及び県二普協に対し毎月、関係資料や警察庁から入手する二輪車盗難件数、被害回復件数の情報を提供した
- ・外車販社を訪問し、普及促進について協力を依頼した
- ・二輪車関係イベント会場等においてチラシを配布してPRに努めた

(2) 二輪車盗難照会システム

○加盟店数

- ・平成22年12月末で3,356店、照会件数は1,031,460件、システム運用開始からの累計照会件数は3,991,788件

○システムの普及促進

- ・稼働歴のない店に対して運用を奨励するための文書を発出するなどのPRを行った
- ・普及協ニュースやHP等による広報、チラシ等の作成・配布

3 広報活動

- ・HPへの各県二普協のGミーティング開催予定、開催状況掲載。内容が平明なものになるよう改訂に努めた
- ・ポスター、チラシ等の広報媒体を利用してGミーティングやG防犯登録等の事業の紹介、安全運転知識・マナー等の啓発活動を行った

4 個人情報管理の徹底

- ・G防犯登録の入力業務を行っている二普協ブロック協議会事務局及び県二普協にG防犯担当部長を派遣し、保有する個人情報の取扱いと保管、管理の実態を検証するとともに指導を行った

5 組織管理

(1) 会議の開催

(2) 役員の改選

(3) 一般社団法人移行への準備

- ・一般社団法人の定款（案）、内部規定（案）の作成等準備作業を進めた

平成23年度事業計画（要旨）

▽二輪車安全運転普及活動

安全な二輪車の利用を促進するため、二輪車運転者の安全運転技能と知識の向上及び交通法規、マナーの遵守啓発を図る。

(1) Gミーティングの推進

- ・県内の二輪車事故の多い年齢層の参加促進
- ・高校生、女性、高齢者の参加促進
- ・未実施県に対する助言と支援（隣接県との共同開催、会場の確保、運営資金の調達等）
- ・Gミーティングの指導内容、運営方法等の統一に関する研修の実施
- ・警察及び関係機関との緊密な連携と協力依頼

(2) 地域二普協が実施する安全運転講習に対する協力、支援

(3) 原付・二輪免許取得への協力活動

- ・「バイクと法令」「原付と安全運転」及び「原付試験問題集」の利用促進と二普協ホームページによる情報提供

(4) 秋の全国交通安全運動の時期に合わせた二輪車安全運転推進運動の実施

- ・街頭点検時における安全運転指導の実施
- ・「バイクの乗り方」等の資料を活用した店頭個別安全指導の実施

- ・ヘルメットの着用等法令遵守のためのポスター等の有効活用

(5) 関係機関との連携・協力

- ・二輪車安全運転全国大会への協力、支援
- ・二推が実施する特別指導員・指導員の審査及び研修への協力

▽二輪車防犯活動

G防犯登録を拡大するとともに、盗難照会システムを拡充し、盗難二輪車の早期発見と被害回復に寄与する。

(1) G 防犯登録の普及促進

- ・警察、国内二輪車メーカー、卸販社への協力要請
- ・G防犯登録目標の達成
 - 銘柄別、都道府県別の国内4メーカーの新車登録目標の策定と達成（登録率・登録件数）
 - 外車新車及び中古車の登録目標の策定と達成（登録件数）
- ・G防犯登録入力システムの改善
 - 現場の警察官の照会精度を上げるための車体番号入力フィールドの変更
 - 各県入力システムのバージョンアップ

(2) 二輪車盗難照会システムの利用促進

- ・加入促進の継続
- ・未稼働販売店に対する活用のPRの継続



若年層への実技教育に協力を

日本自動車工業会二輪車特別委員会企画部会部会長 世古 俊晴

皆様方こんにちは。ただいま紹介いただきました日本自動車工業会二輪車特別委員会の企画部会長を務めております世古と申します。本日は全国二輪車普及協会の通常総会懇親会にお声がけをいただきまして誠にありがとうございました。本来ですと委員長の柳がご挨拶を申し上げるべきですが、所用がございまして私の方から一言ご挨拶申し上げます。

今年は3月に震災がございまして、東北の二普協の県支部の方々が被災されたと聞いております。お見舞いを申し上げます。

さて、国内の二輪車の状況を少し紹介します。昨年度の国内の出荷は38万台、前年比で101.4%。国内販売は42万台で同99.2%という状況でした。2009年から40万台レベルで、前の年から10万台以上落ち込んでいくという状況が相変わらず続いています。大変厳しいというか、危機的な状況です。そこで自工会としましては、お客様の利用環境の改善や各種規制等の緩和をお願いしております。

ここで、自工会の調査の結果をご紹介します。2009年に新車購入ユーザーの特性を調査したところ、平均年齢が47歳でした。2001年と比較しますと、この8年間に平均年齢が8歳上がっています。1年に1歳ずつ平均年齢が上がっているということで、これはつまり、若者層の新規エントリーが非常に少ないということです。

そこで、どうしたらよいかということになるので

すが、やはり高校生がターゲットになると思います。16歳で免許を取って、というところからバイクライフがスタートします。従ってそのところで、「バイクは危険な乗り物だ」から「バイクは便利で楽しい乗り物だ」あるいは「環境に優しくて時代に合った乗り物だ」といったようなイメージづくりをやっていく必要があると思います。そのための一つの施策として、現在行っておりますが、バイク通学の許可を受けている生徒さんや生徒指導を行っている先生方に対しての実技教育等の支援活動を行っています。自工会では、教育普及協さんのご協力をいただきまして毎年続けておりますが、今年は、実技教育の回数を増やしていこうと思っております。

一方で、二普協さんあるいは安全協会、二推さん等で安全運転の講習会を行っている聞いております。平成21年で全国で500会場で3万人ほどの高校生の方が参加されているとうかがっております。従いまして、自工会がやっているものは人数も少ないものですから、今皆さん方がやられていることとうまくドッキングさせて、社会に対して、交通社会に大変役に立つ活動を地道にやっているということ、もう少しアピールしていけたらと思っています。

最後になりますが、会員各位および関係者の方々の益々のご活躍とご健勝ならびに被災地の一刻も早い復興を祈念して挨拶とさせていただきます。



被災地での二輪車活躍で人気復活に期待

全日本交通安全協会専務理事 中澤 見山

全日本交通安全協会の専務理事の中澤でございます。この度の地震、津波の災害では、被災地で二輪車が物資を運搬したり、情報伝達で大変活躍したとうかがっております。大変不幸な出来事でございますが、こうした機会に改めて、二輪車の利便性が見直されたと思います。こうしたことと、皆様方の平素の地道な

安全普及の活動、盗難防止の活動が実りまして、二輪車の人気がもう一度大きく復活することを期待しています。

本日ご参会の皆様方のご健勝と、全国二普協の活動の益々のご発展を祈念いたしまして、高らかに杯を上げたいと思います。

広島・香川両県に警察庁・全国二普協連名表彰 岐阜・岡山・愛媛・沖縄には会長表彰

—平成22年度活動実績優秀県に対する表彰—



通常総会時に行われる「活動実績優秀県」に対する表彰。今年度は、特に優秀な実績を収めた広島、香川の両県に対して警察庁交通局長・生活安全局長・全国二普協会長の三者連名による表彰が行われた。また、これに準ずる実績を収めた岐阜、岡山、愛媛、沖縄の4県に対しては、全国二輪車安全普及協会会長賞が授与された。

表彰式では、三者連名の表彰状を石井警察庁交通局長が広島・香川両県に授与するとともに、会長賞を福井会長が授与した。

最後に受賞県を代表して、広島県二輪車安全普及協会の遠藤貞夫会長が謝辞を述べた。

社会の要請に 積極的に応える

謝 辞

ただいま栄えある表彰を受けまして、誠にありがとうございます。本表彰をいただきました各県二輪車安全普及協会を代表しまして、お礼の言葉を申し上げます。

私どもは日頃より、お客様に安心・安全、快適なバイクライフを提供することに取り組んでまいりました。グッドライダー防犯登録制度の普及に関しましては、特に、県警察本部によります懇切丁寧なご指導を賜り、密接な関係の下に推進してまいりました。

今後はさらに、グッドライダー防犯登録制度はもとより、二輪車盗難照会システムの加入促進を含め、二輪車事故削減のため、グッドライダーミ



ーティングの充実をはかり、二輪車の安全普及という社会の要請に対しまして積極的に応え、本日の受賞に恥じない成果をもってお応えしたいと考えています。

警察庁をはじめ、関係各位の今まで以上のご指導・ご鞭撻をいただきますとともに、全国二普協ならびに各県二普協の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして感謝の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

広島県二輪車安全普及協会会長 遠藤貞夫

G ミーティング紹介

全国各地で工夫を凝らした G ミーティングが関係者のご尽力により開催されていますが、今回、その一部をご紹介します。

参加者からは有意義な講習であった旨の感想が多く寄せられており、そのような参加者の声を糧に、今後も協力して G ミーティングの継続推進を図っていきたいと考えています。

○岩手県・宮城県

震災を乗り越え

岩手県は5月22日（日）、盛岡市玉山区の岩手県自動車運転免許試験場において開催した。当日は、受付時間前の大雨、強風により急きよの欠席者11人が出たが、参加者27人（内女性2人、年齢別では10歳代1人、60歳代1人を含む）、指導員9人で講習を行った。講習に先立ち、全員で震災の犠牲者に黙とうを捧げ御冥福をお祈りした。

講習では、指導員の熱心な指導の下、参加者全員が運転技量の向上に一生懸命に取り組み、G ミーティングを行うことができた幸せを全員で分かち合った。



宮城県は5月29日（日）、仙台市泉区の宮城県運転免許センターにおいて開催した。参加者は23人（内女性は4人）であったが、特に今回は通常だと5～6人の初参加者が12人と多く全参加者の半数を占めた。県指導員の10人に加えて県警の男性白バイ隊員及び女性白バイ隊員の2名も駆けつけてくれ指導して頂いた。

会場の運転免許センターも地震の被害があり、講習コースとして当初計画していた本コースが陥没し使用不能となったため従来同様の原付コースでの開催となった。

岩手県同様、講習に入る前に全員で海に向かい黙祷を捧げ、震災とそれに続く津波による犠牲者の御冥福と行方不明者の一刻も早い発見をお祈りした。

講習では、震災で苦労も多く気持も沈みがちのこ



岩手山をバックに訓練開始



スムーズなコーナリング

ろであるが、やはり、参加者全員がオートバイに乗れる喜びを噛みしめ、いきいきとして講習に取り組んだ。参加者、指導者そして関係者にとって、忘れられない思い出に残る G ミーティングとなった。

○秋田県

県警交通機動隊員5人の実技指導

6月19日（日）、秋田市新屋町の旧秋田空港跡地で21人が参加して開催された。

参加者は、県警交通機動隊員5人の実技指導も受



風も味方にして走行訓練

けながら熱心に訓練に取り組んだ。参加者からは「交通機動隊員から直接教えてもらう数少ない機会であった」「ブレーキのかけ方など学んだ技術を生かして安全運転に努めたい」などと講習会が有意義であった旨の感想が寄せられた。



交通機動隊員から個別指導

○奈良県

高齢者も真剣に

5月28日（土）、毎年恒例の高齢者を対象とした原付安全講習が奈良県運転免許センターにおいて、60歳から最高齢82歳までの35人が参加して開催された。



機器による飲酒状態の模擬体験

本来は屋外の二輪コースで行っているが、当日はあいにくの雨天のため屋内での講習となった。

参加者は、指導員の話に真剣に耳を傾け、一同事故防止への思いを強くした有意義な講習であった。



堀田特別指導員の話をも熱心に聴く受講者

○福井県

福井県初のGミーティング

6月26日（日）、坂井市の福井県運転教育センターにおいて、31人（内女性3人）が参加して福井県では初となるGミーティングが関係団体の協力を得て開催された。受講者は、上杉特別指導員をはじめ7人の指導を受け、運行前点検、基本乗車姿勢の説明を受けた後、ブレーキング、コンビネーションスラローム、パイロンスラローム、一本橋、千鳥バランス、急制動などの実技訓練に汗を流した。

講習終了後、受講者へアンケートをしたところ、

- ・ 二輪車実技講習の基礎が身につけてとても勉強になった。
- ・ 今までこわごわ運転していたが、楽しく乗れるようになった。

になった。

- ・ 指導員の話がとても上手で、楽しく学ぶことができた。
 - ・ 指導員のアドバイスがありがたかった。
 - ・ 二輪車の奥深さを感じた。同様の機会があればまた参加したい。
 - ・ 年1回ではなく、何回も実施して欲しい。
- など、非常に有意義であったという感想が大多数であった。

一方で少数ではあるが、「時間が短かった」「もう少し個々に指導してもらえればもっと良かった」など改善意見もみられたことから、福井県ではきちんと対応して次回につなげたいとしている。



開講式 指導員からの諸注意説明



慣熟走行



乗車姿勢説明



一本橋と千鳥バランス

Gミーティング紹介

○熊本県

バイク通学の高校生を対象

4月24日（日）、菊池市の菊池自動車学校において、バイク通学の高校生38人が参加して開催された。

参加高校生は、座学では二輪シミュレーターにより、道路上への歩行者の急な飛び出しなどを模擬体験した。実技では、県二普協指導員の指導を受け、雨で濡れた路面での運転を体験し、バランスの取り方などを訓練した。県警白バイ隊員による模範走行も行われるなど有意義な講習であった。



二輪シミュレーターによる模擬運転

女性ライダー初の開催

5月22日（日）、熊本市の県警交通機動隊訓練所において、26歳から50歳の女性ライダー8人が参加して開催された。熊本県としては初の女性を対象とした開催となった。

参加者は、白バイ隊員と慣熟走行を行い、県二普協指導員の指導を受け一本橋走行や千鳥走行などを訓練した。運転にブランクがあった参加者もあり、「特にスラローム、千鳥走行のアクセルワークなど参考になった」等の感想が寄せられた。



8人の女性ライダー勢揃い



パイロンスラローム訓練



マンツーウーマン指導

地域二普協活動紹介 ————【横須賀二輪車安全普及協会】

○横須賀・三浦地区二輪車事故防止連絡会

平成23年6月23日（木）、横須賀二輪車安全普及協会（鈴木孝秀会長）が事務局となり、横須賀市の「ヴェルクよこすか」において第20回横須賀・三浦地区二輪車事故防止連絡会が開催された。当連絡会は横須賀・三浦地区の交通安全啓蒙活動を行っている関係団体が

挨拶する鈴木会長



一堂に介し、より効率の良い活動を行うための連絡会であり、1990年から毎年開催、今年が20回目と長く継続開催されており、他の地域に例を見ない二輪車事故防止連絡会である。

当日は、関係団体から34人が参加し二輪車の交通事故を減らすための有意義な意見交換が行われた。



会議の様子

参加団体（敬称略・順不同）

- ・神奈川県横須賀市三浦地域総合センター
- ・横須賀市市民安全部
- ・横須賀警察署
- ・浦賀警察署
- ・田浦警察署
- ・横三地区県立高校校長会
- ・横三地区県立高校交通安全担当者会議
- ・県立高校 PTA 連合横三地区交通安全対策委員会
- ・横須賀交通安全協会
- ・浦賀交通安全協会
- ・田浦交通安全協会
- ・横須賀安全運転管理者会
- ・田浦安全運転管理者会
- ・横須賀青少年交通安全連絡協議会
- ・久里浜中央自動車学校
- ・横須賀ドライビングスクール
- ・ベターライフ出版
- ・二輪車新聞社
- ・全国二輪車安全普及協会
- ・二輪車安全普及協会 神奈川県ブロック
- ・横須賀二輪車安全普及協会

○市民総ぐるみ二輪車交通安全パレード

横須賀二輪車安全普及協会は、年間を通して交通安全活動を活発に展開していますが、平成15年からは秋の交通安全運動期間中における大きなイベントとして、「市民総ぐるみ二輪車交通安全パレード」を実施しています。

同パレードは、関係団体の協力を得て行っているものであり、昨年は、150人の参加者が田浦方面と浦賀久里浜方面の二班に分かれパレードを行い、事故防止意識の高揚を図りました。今年も9月23日の秋分の日実施予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。



海岸沿いを進む二輪車パレード



「救援ばいくV・Sやまなし」のボランティア活動



救援ばいく V・S (ボランティア・サービス) やまなしは、阪神淡路大震災において物資の輸送、情報の収集や伝達にバイクが大きな役割を果たしたことを教訓として、平成8年に日本赤十字山梨県支部と「山梨県二輪車安全普及協会」が中心となって結成された災害時に救援活動を行うための日赤傘下の特殊奉仕団の一つです。現在、団員は111人。県二普協と同一場所に事務局が置かれ活動計画を策定しています。また、G防を取扱っている県内の販売店20店が団員募集協力店として団員募集に一役買っています。



地図を頼りに巡回

今回の東日本大震災に伴い、5月13日から5月31日まで、8人4班（1チーム2人）が、食料、飲料水、寝袋、雨具などを携行し、山梨から700km離れた宮城県気仙沼に派遣され、同所のボランティアセンターを拠点として、被災地を巡回し、主に被災者及び一般ボランティアの安全・健康管理活動に当たりました。



救護所で活動中の団員

派遣者の感想をいくつかご紹介します。

- 津波の恐ろしさを残す風景で、一同途方に暮れる状態でした。
- 地震と大津波によって破壊された街や海岸線の風景に唖然とするばかり…自然の力の凄さに驚愕しました。そんな状況の中、地元の方々も少しずつ現実を受け止め、前へ前へと進む姿に胸を打たれました。
- 家が2 m近く浸水した家のご主人に「水没して、諦めていた白藤の花が満開です」と見せていただいた花の美しさ、鉄橋に掲げられた大漁旗に再興への希望と思いが感じられました。
- 渋滞が多く複雑な被災地の道路事情の中では、軽快な二輪車は有効な手段だと思います。
- いのちと健康を守るために活動できた事に感謝しています。



復興を願い鉄橋に掲げられた大漁旗

5月末の交通事故死、前年比42人減

— 二輪車乗車中は1人増 —

(平成23年5月末／警察庁資料)

	自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全死者数			二輪車の死者数の構成比	
	23年5月末	22年5月末	増減数	23年5月末	22年5月末	増減数	23年5月末	22年5月末	増減数	23年5月末	22年5月末	増減数		
北海道	5	3	2	0	0	0	5	3	2	45	66	-21	11.1	
東 北	青森	0	2	-2	0	0	0	2	-2	17	21	-4	0.0	
	岩手	0	0	0	3	0	3	0	3	22	20	2	13.6	
	宮城	0	2	-2	4	2	2	4	0	34	30	4	11.8	
	秋田	1	0	1	0	0	0	1	0	26	18	8	3.8	
	山形	1	0	1	1	0	1	2	0	17	12	5	11.8	
	福島	1	1	0	4	2	2	5	3	2	25	33	-8	20.0
計	3	5	-2	12	4	8	15	9	6	141	134	7	10.6	
関 東	東京	17	17	0	3	12	-9	20	29	-9	81	87	-6	24.7
	茨城	3	3	0	5	9	-4	8	12	-4	68	75	-7	11.8
	栃木	3	5	-2	3	6	-3	6	11	-5	48	58	-10	12.5
	群馬	5	0	5	3	1	2	8	1	7	37	33	4	21.6
	埼玉	10	10	0	11	3	8	21	13	8	78	71	7	26.9
	千葉	6	8	-2	2	2	0	8	10	-2	55	65	-10	14.5
	神奈川	22	15	7	4	6	-2	26	21	5	66	74	-8	39.4
	新潟	3	6	-3	3	1	2	6	7	-1	50	38	12	12.0
	山梨	0	3	-3	0	2	-2	0	5	-5	22	20	2	0.0
	長野	1	0	1	2	3	-1	3	3	0	57	42	15	5.3
計	70	67	3	36	45	-9	106	112	-6	562	563	-1	18.9	
中 部	富山	1	1	0	0	0	0	1	1	0	24	14	10	4.2
	石川	0	1	-1	0	1	-1	0	2	-2	19	26	-7	0.0
	福井	0	1	-1	2	0	2	2	1	1	19	13	6	10.5
	岐阜	5	3	2	1	2	-1	6	5	1	33	49	-16	18.2
	静岡	4	7	-3	3	4	-1	7	11	-4	58	63	-5	12.1
	愛知	15	11	4	7	8	-1	22	19	3	93	89	4	23.7
	三重	2	3	-1	4	3	1	6	6	0	37	44	-7	16.2
計	27	27	0	17	18	-1	44	45	-1	283	298	-15	15.5	
近 畿	滋賀	2	3	-1	2	5	-3	4	8	-4	38	32	6	10.5
	京都	4	4	0	5	6	-1	9	10	-1	39	36	3	23.1
	大阪	14	17	-3	8	5	3	22	22	0	94	71	23	23.4
	兵庫	11	7	4	5	4	1	16	11	5	69	74	-5	23.2
	奈良	1	4	-3	1	1	0	2	5	-3	17	18	-1	11.8
	和歌山	2	4	-2	2	2	0	4	6	-2	23	19	4	17.4
計	34	39	-5	23	23	0	57	62	-5	280	250	30	20.4	
中 国	鳥取	1	0	1	1	0	1	2	0	2	10	20	-10	20.0
	島根	0	1	-1	0	3	-3	0	4	-4	12	11	1	0.0
	岡山	5	1	4	4	5	-1	9	6	3	44	40	4	20.5
	広島	5	8	-3	5	4	1	10	12	-2	40	54	-14	25.0
	山口	2	5	-3	1	1	0	3	6	-3	24	41	-17	12.5
計	13	15	-2	11	13	-2	24	28	-4	130	166	-36	18.5	
四 国	徳島	2	1	1	4	2	2	6	3	3	22	20	2	27.3
	香川	4	1	3	2	1	1	6	2	4	39	19	20	15.4
	愛媛	4	1	3	5	2	3	9	3	6	43	25	18	20.9
	高知	2	4	-2	0	0	0	2	4	-2	19	19	0	10.5
計	12	7	5	11	5	6	23	12	11	123	83	40	18.7	
九 州	福岡	4	13	-9	9	4	5	13	17	-4	62	75	-13	21.0
	佐賀	0	4	-4	0	0	0	0	4	-4	14	20	-6	0.0
	長崎	4	4	0	2	0	2	6	4	2	20	28	-8	30.0
	熊本	6	2	4	3	4	-1	9	6	3	29	32	-3	31.0
	大分	3	1	2	0	1	-1	3	2	1	16	26	-10	18.8
	宮崎	2	2	0	0	0	0	2	2	0	22	24	-2	9.1
	鹿児島	4	1	3	0	2	-2	4	3	1	32	34	-2	12.5
	沖縄	1	3	-2	3	2	1	4	5	-1	19	21	-2	21.1
計	24	30	-6	17	13	4	41	43	-2	214	260	-46	19.2	
合計	188	193	-5	127	121	6	315	314	1	1,778	1,820	-42	17.7	

グッドライダー防犯登録、累計272万件に達する — 保有台数比22.8% 地域格差の解消が課題 —

(社)全国二輪車安全普及協会
(平成23年6月末)

都道府県	H23.1月～ H23.6月	H22年3月末	H22年12月末	登録			削除		累計	
	出荷台数 A	保有台数 B	7年満期削除済 C	H23年 6月 D	H23.1月～ H23.6月 E	出荷台数 比(E/A)	H15年 6月 F	H15.1月～ H15.6月 G	H(C+E-G)	H22年保有 台数比(H/B)
北海道	2,170	216,302	13,812	153	635	29.3	387	1,130	13,317	6.2
青森県	702	87,152	12,243	160	567	80.8	340	928	11,882	13.6
岩手県	1,290	107,575	10,745	140	624	48.4	291	910	10,459	9.7
宮城県	4,900	181,865	53,802	801	4,290	87.6	515	3,469	54,623	30.0
秋田県	328	60,989	3,524	38	176	53.7	66	312	3,388	5.6
山形県	525	82,902	7,326	96	420	80.0	119	477	7,269	8.8
福島県	1,137	153,119	11,144	135	513	45.1	223	703	10,954	7.2
東北計	8,882	673,602	98,784	1,370	6,590	74.2	1,554	6,799	98,575	14.6
東京都	22,809	1,037,715	285,286	2,234	13,148	57.6	4,788	23,818	274,616	26.5
茨城県	3,085	246,855	24,983	285	1,767	57.3	141	1,433	25,317	10.3
栃木県	1,897	174,988	16,313	134	781	41.2	174	1,038	16,056	9.2
群馬県	1,698	166,198	17,629	174	993	58.5	182	1,261	17,361	10.4
埼玉県	11,477	586,902	184,876	1,397	8,320	72.5	2,662	9,971	183,225	31.2
千葉県	8,803	491,556	76,249	735	4,529	51.4	1,248	4,984	75,794	15.4
神奈川県	18,870	961,589	189,461	1,916	11,243	59.6	3,845	12,620	188,084	19.6
新潟県	1,459	194,269	12,557	109	576	39.5	335	1,247	11,886	6.1
山梨県	1,681	118,022	36,445	362	2,362	140.5	359	2,206	36,601	31.0
長野県	1,728	209,506	30,368	216	1,267	73.3	680	2,818	28,817	13.8
関東計	73,507	4,187,600	874,167	7,562	44,986	61.2	14,414	61,396	857,757	20.5
静岡県	8,199	450,799	48,049	483	3,516	42.9	443	2,972	48,593	10.8
富山県	429	56,491	4,283	60	270	62.9	77	307	4,246	7.5
石川県	744	66,608	6,885	43	394	53.0	53	379	6,900	10.4
福井県	497	42,749	5,733	79	359	72.2	51	271	5,821	13.6
岐阜県	1,266	126,448	6,781	68	553	43.7	42	214	7,120	5.6
愛知県	9,634	517,676	75,489	864	5,674	58.9	493	2,707	78,456	15.2
三重県	2,709	187,596	38,434	302	1,760	65.0	472	3,264	36,930	19.7
中部計	23,478	1,448,367	185,654	1,899	12,526	53.4	1,631	10,114	188,066	13.0
滋賀県	1,921	135,565	56,085	392	2,642	137.5	603	3,461	55,266	40.8
京都府	9,041	405,375	125,203	1,152	7,484	82.8	1,699	9,870	122,817	30.3
大阪府	22,820	1,009,237	384,585	3,196	22,134	97.0	1,745	10,536	396,183	39.3
兵庫県	9,015	636,293	92,492	1,394	8,778	97.4	280	2,222	99,048	15.6
奈良県	2,888	200,088	26,512	146	1,166	40.4	454	2,462	25,216	12.6
和歌山県	3,564	212,211	52,452	355	2,336	65.5	899	4,616	50,172	23.6
近畿計	49,249	2,598,769	737,329	6,635	44,540	90.4	5,680	33,167	748,702	28.8
鳥取県	338	33,857	9,289	58	347	102.7	156	719	8,917	26.3
島根県	702	54,483	22,166	145	938	133.6	329	1,677	21,427	39.3
岡山県	3,068	204,795	102,188	810	4,807	156.7	1,300	7,433	99,562	48.6
広島県	7,476	374,388	279,811	2,078	13,612	182.1	3,422	20,217	273,206	73.0
山口県	1,976	122,611	50,183	660	2,321	117.5	559	3,308	49,196	40.1
中国計	13,560	790,134	463,637	3,751	22,025	162.4	5,766	33,354	452,308	57.2
徳島県	1,094	92,742	11,460	106	648	59.2	81	442	11,666	12.6
香川県	1,944	126,784	6,795	130	928	47.7	44	246	7,477	5.9
愛媛県	4,892	235,106	128,399	979	6,940	141.9	1,860	8,040	127,299	54.1
高知県	2,041	118,881	30,180	179	2,002	98.1	373	2,100	30,082	25.3
四国計	9,971	573,513	176,834	1,394	10,518	105.5	2,358	10,828	176,524	30.8
福岡県	7,396	428,362	50,920	320	2,752	37.2	477	3,084	50,588	11.8
佐賀県	676	69,606	1,620	10	93	13.8	3	20	1,693	2.4
長崎県	2,360	169,339	14,596	59	515	21.8	246	1,491	13,620	8.0
熊本県	3,924	203,115	40,215	229	2,507	63.9	404	3,143	39,579	19.5
大分県	1,874	121,240	13,100	91	841	44.9	111	790	13,151	10.8
宮崎県	1,491	104,113	13,870	137	735	49.3	505	1,714	12,891	12.4
鹿児島県	3,730	209,307	49,834	176	1,747	46.8	1,731	5,626	45,955	22.0
沖縄県	2,451	166,550	16,884	256	1,076	43.9	109	693	17,267	10.4
九州計	23,902	1,471,632	201,039	1,278	10,266	43.0	3,586	16,561	194,744	13.2
全国計	204,719	11,959,919	2,751,256	24,042	152,086	74.3	35,376	173,349	2,729,993	22.8

二輪車盗難件数、前年比5.0%減 — 被害回復率39.0%、20県で回復率アップ —

(平成23年6月末/警察庁資料)

盗難認知/被害回復状況

(社)全国二輪車安全普及協会

(年間比較)

<警察庁情報>

(前年同期間比較)

都道府県	G防普及率 H23年6月	平成21年			平成22年			平成22年 1月~6月			平成23年 1月~6月		
		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率
北海道	6.3	499	266	53.3	362	188	51.9	135	57	42.2	138	78	56.5
青森県	13.8	58	29	50.0	39	19	48.7	20	10	50.0	12	5	41.7
岩手県	9.9	53	34	64.2	32	19	59.4	15	14	93.3	18	2	11.1
宮城県	29.9	1,006	514	51.1	832	392	47.1	432	221	51.2	332	157	47.3
秋田県	5.6	26	10	38.5	21	11	52.4	8	6	75.0	8	3	37.5
山形県	8.8	46	21	45.7	64	36	56.3	30	17	56.7	29	9	31.0
福島県	7.2	208	121	58.2	268	151	56.3	102	53	52.0	104	64	61.5
東北計	14.7	1,397	729	52.2	1,256	628	50.0	607	321	52.9	503	240	47.7
東京都	26.7	6,548	1,825	27.9	6,709	1,796	26.8	3,274	896	27.4	3,274	876	26.8
茨城県	10.2	1,844	325	17.6	1,679	329	19.6	789	166	21.0	911	168	18.4
栃木県	9.2	558	106	19.0	526	114	21.7	239	37	15.5	188	24	12.8
群馬県	10.5	534	201	37.6	563	178	31.6	247	57	23.1	309	97	31.4
埼玉県	31.4	5,633	949	16.8	5,858	764	13.0	3,000	371	12.4	2,621	444	16.9
千葉県	15.5	4,606	1,684	36.6	4,423	1,718	38.8	2,172	862	39.7	1,582	695	43.9
神奈川県	19.8	7,345	3,158	43.0	7,344	3,024	41.2	3,208	1,353	42.2	3,567	1,516	42.5
新潟県	6.2	183	88	48.1	178	70	39.3	71	26	36.6	51	16	31.4
山梨県	31.0	419	195	46.5	757	319	42.1	296	100	33.8	336	164	48.8
長野県	14.0	337	131	38.9	222	96	43.2	82	41	50.0	74	46	62.2
関東計	20.6	28,007	8,662	30.9	28,259	8,408	29.8	13,378	3,909	29.2	12,913	4,046	31.3
静岡県	10.8	1,744	913	52.4	1,666	847	50.8	743	385	51.8	659	415	63.0
富山県	7.5	89	66	74.2	69	45	65.2	31	19	61.3	33	23	69.7
石川県	10.4	167	70	41.9	145	55	37.9	60	26	43.3	49	34	69.4
福井県	13.6	112	83	74.1	121	51	42.1	38	23	60.5	47	33	70.2
岐阜県	5.6	785	460	58.6	537	319	59.4	231	145	62.8	235	124	52.8
愛知県	15.1	5,238	906	17.3	4,655	1,018	21.9	2,304	504	21.9	1,960	447	22.8
三重県	19.8	806	415	51.5	760	411	54.1	337	195	57.9	410	187	45.6
中部計	13.0	8,941	2,913	32.6	7,953	2,746	34.5	3,744	1,297	34.6	3,393	1,263	37.2
滋賀県	40.9	843	355	42.1	708	245	34.6	368	105	28.5	323	88	27.2
京都府	30.4	4,072	1,561	38.3	3,083	1,229	39.9	1,456	532	36.5	1,604	640	39.9
大阪府	39.1	12,510	3,787	30.3	9,422	3,571	37.9	4,753	1,674	35.2	4,263	1,539	36.1
兵庫県	15.4	6,483	2,313	35.7	5,644	2,273	40.3	2,794	1,063	38.0	2,227	784	35.2
奈良県	12.8	1,146	553	48.3	968	380	39.3	389	137	35.2	450	191	42.4
和歌山県	23.9	1,045	600	57.4	578	272	47.1	269	132	49.1	263	103	39.2
近畿計	28.8	26,099	9,169	35.1	20,403	7,970	39.1	10,029	3,643	36.3	9,130	3,345	36.6
鳥取県	26.6	31	9	29.0	46	21	45.7	20	13	65.0	20	12	60.0
島根県	39.7	31	18	58.1	23	19	82.6	13	10	76.9	13	9	69.2
岡山県	48.9	1,115	669	60.0	1,300	764	58.8	598	354	59.2	674	381	56.5
広島県	73.3	1,378	755	54.8	1,176	792	67.3	606	351	57.9	526	334	63.5
山口県	40.0	242	123	50.8	268	136	50.7	110	67	60.9	84	31	36.9
中国計	57.5	2,797	1,574	56.3	2,813	1,732	61.6	1,347	795	59.0	1,317	767	58.2
徳島県	12.6	117	47	40.2	160	80	50.0	58	34	58.6	64	27	42.2
香川県	5.8	779	387	49.7	794	385	48.5	359	194	54.0	282	112	39.7
愛媛県	54.5	1,109	568	51.2	1,231	496	40.3	668	269	40.3	615	190	30.9
高知県	25.5	803	390	48.6	433	264	61.0	263	170	64.6	160	113	70.6
四国計	30.9	2,808	1,392	49.6	2,618	1,225	46.8	1,348	667	49.5	1,121	442	39.4
福岡県	11.8	7,421	4,410	59.4	6,432	3,905	60.7	2,887	1,806	62.6	3,200	2,005	62.7
佐賀県	2.4	286	162	56.6	261	159	60.9	157	104	66.2	216	123	56.9
長崎県	8.2	294	151	51.4	265	169	63.8	101	96	95.0	102	86	84.3
熊本県	19.6	1,040	810	77.9	606	441	72.8	276	212	76.8	240	169	70.4
大分県	10.9	432	215	49.8	379	228	60.2	188	100	53.2	152	79	52.0
宮崎県	12.7	160	118	73.8	158	71	44.9	71	45	63.4	54	34	63.0
鹿児島県	22.7	731	475	65.0	546	324	59.3	256	144	56.3	210	122	58.1
沖縄県	10.3	1,204	428	35.5	1,180	312	26.4	541	178	32.9	620	193	31.1
九州計	13.4	11,568	6,769	58.5	9,827	5,609	57.1	4,477	2,685	60.0	4,794	2,811	58.6
全国計	22.9	82,116	31,474	38.3	73,491	28,506	38.8	35,065	13,374	38.1	33,309	12,992	39.0

(注) G-防普及率
6月末G防累計件数
H22年3月保有台数

<H21対H22比較>
①盗難認知件数 **-8,625** **-10.5%**

・前年同期間比較 ①認知件数 **-1,756** **-5.0%**

②認知件数の増減(県の数) ③回復率の増減(県の数)

認知件数の増減(県の数)	
認知増県数	県数
認知増県数	19
認知減県数	24
計	43

回復率の増減(県の数)	
回復率ダウン	県数
回復率ダウン	27
回復率アップ	20
計	47

5 都県二普協前役員に感謝状

～永年にわたる功績を称える～

永年にわたる二輪車安全普及活動及び防犯対策事業の推進に当たられ、所管官庁及び関係団体から高い評価を受けた功績を称え、梅田敏夫前東京都二普協専務理事、松本武剛前神奈川県二普協専務理事、松田實茨城県二普協前専務理事、富樫信之広島県二普協元会長及び同前専務理事、大西康雄岡山県二普協前専務理事の5氏に、全国二輪車安全普及協会福井会長より感謝状を贈呈しました。

永年のご功労に感謝申し上げます。



写真上段右から梅田氏、松田氏、松本氏。写真下段は大西氏。

全国二普協・役員名簿（敬称略）

（平成23年5月18日現在）

- ▽会 長（兼副会長）＝福井威夫
- ▽専務理事＝國枝英郎
- ▽常任理事＝井内正晴、木村 稔、次廣 章、河野健二、成田睦郎、大沢利方、池本憲治、原 淳一郎、中山 章
- ▽理 事＝宮寄拓郎、中澤見山、水田龍二、石黒寿佐夫、奥村浩二、川口博晴、遠藤貞夫、古川道夫、比嘉勝彦
- ▽監 事＝品田信夫、木内正明、石黒芳紀、山内 秀

編 集 後 記

平成23年度通常総会は、定例議案に加えて一般社団法人への移行についても承認され、終了致しました。御出席された皆様方に御礼を申し上げます

さて、3月の東日本大震災では、尊いご家族様をお亡くしになられた役員の方もおられます。ここにあらためて犠牲になられました多くの御霊に哀悼の意を表しますとともにご冥福をお祈り致します。震災発生から既に4ヶ月が過ぎたとはいえ、被災地では、未だに多数の方が行方不明の状況が続いておりますが、被災者のみならず多くの国民が心をつなげた懸命な復旧支援活動により、本当に少しずつではありますが、復興への足音も聞こえるようになってきました。その中であって、一本の松が復興のシンボルとなっております。それは、皆様ご存じのとおり、陸前高田の砂浜に

1667年（寛文7年）地元の豪商が防潮林として松を植えたことに始まる、日本百景の名勝「高田松原」7万本のうち、1本だけが津波の猛威に耐え残りました。

がれきの中に1本だけ残ったこの松に不屈の精神を感じるところから、「希望の松」と呼ばれ、復興のシンボルとなっております。

私達の二輪車を取り巻く環境も依然として厳しい状況が続いております。そのような中であって、福井会長の挨拶にもありましたように、今年は、全国二普協発足40周年そして一般社団法人への移行が予定される節目の年であります。私達一人ひとりが希望を持ち心をつなげて、活動内容の充実を図っていかねばならないと思っています。皆様方のより一層のご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。